

# MEMS協議会(MEMS Industry Forum)の動き

## 1. 総合イベント「マイクロナノ2010」計画概要

総合イベント「マイクロナノ2010」を2010年7月28～30日、東京ビッグサイトで開催いたします。

主催者であるマイクロマシンセンターおよびオーガナイザーのメサゴメッセフランクフルトとでマイクロナノ2010の基本コンセプト、目標等について合意をし、連携して準備を進めています。

マイクロナノ2009は、景気の影響を強く受けて、ここ数年で初めて出展社数および来場者数の減少を経験しました。2010年は、不透明な先行きではありますが、何とか挽回して、元の成長基調に戻したいと考えています。

出展社、参加者を増やすために、マイクロマシン/MEMS展に加え、新規にMEMSセンサーなどを中心とするサービスロボットの製造技術に焦点を当てた「ROBOTECH」を同時開催する予定です(さらに、表面技術に関する「SURTECH」も併催)。また、ナノインプリントや海外アフィリエイトとのワークショップなど、同時開催のセミナーを充実させることも検討しています。

国際ロボット展への出展、MEMS講習会でロボットMEMSを扱う、など事前プロモーション活動や、展示会におけるコンシェルジュの充実なども合わせて、出展社、来場者にとって最も価値のある技術情報、ビジネス情報、ビジネス機会をワンストップで提供できるように企画を進めて参ります。ぜひご期待いただき、ご出展、ご来場の検討をお願い致します。

## 2. 海外アフィリエイトとの交流を活発に推進

海外アフィリエイトとの交流は、日本からの情報発信、世界の最先端情報の収集に加え、つくばナノテク拠点形成におけるオープンイノベーションにつながるという意味があり、積極的に推進しています。

昨年10月には2回目となる、フランスCEA-LETIとの共同ワークショップを産総研つくばで開催し、ロボットMEMSやセンサーネットワーク、集積化に関して相互理解を深めました。LETIとは継続して協業の可能性を探っています。

11月25日、台湾工業技術研究院(ITRI)が19番目の海外アフィリエイトとなりました。同時に東大駒場において共同ワークショップを開催し、相互に理解を深めて今後の協業の可能性を探りました。

これらのほか、米国BSACやMIG、ベルギーIMECとの情報交換、カナダやオランダとの交流などの検

討も進めています。これらの諸活動が、いずれ会員企業のビジネスにつながり、つくばナノテク拠点形成に資すると期待しています。



LETIワークショップ

ITRI調印

## 3. 人材育成プログラムの検討

不況による足踏みはあるものの、長期的にMEMS産業が発展していくことは確実です。予想される2兆円の市場規模を支える人材育成は急務と考えられています。

関東経済産業局の助成を得て、産総研、北九州や関西地域の公的機関で実施されてきた人材育成事業を、来年度から、マイクロマシンセンターを中心として全国展開すべく、新たなプログラムを検討しています。「マイクロナノイノベーション人材育成プログラム(仮称)」として、これまでのカリキュラムを改良・再編、また新規科目も開発して、製造プロセスやデバイス設計の専門家に加え、技術シーズと顧客ニーズをつなげて商品化を推進できる人材の育成も目指して検討を進めています。

## 4. つくばナノテク拠点N-MEMSの形成

つくばナノテク拠点N-MEMSは、個別企業では困難な大規模設備投資による最先端研究の推進、MEMSアプリケーション開拓のための設計・試作機能の強化などを目指して、拠点形成しようというものです。6月の最高運営会議の発足や、経産省による継続的なワークショップ開催など、気運は盛り上がっています。当センターは、拠点形成を中心的に推進すべく、戦略や組織などの原案を検討しています。

BEANSプロジェクトや、補正予算および来年度予算に向けて提案しているGMEMS(高機能センサーネットワーク、低環境負荷製造プロセス)の研究組織は、ナノテク拠点N-MEMSのベースとなると位置付けています。今後、日本の強みや特長を生かして、激化する国際競争に打ち勝つ戦略を提案し、拠点形成を現実化すべく、会員企業の協力も得ながら、検討を進めます。